

作成日 2016年03月04日

改訂日 2017年07月12日

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

製品名： オルガフィックスDA - F 4 0

会社名： オルガノ株式会社

住所： 東京都江東区新砂 1-2-8

担当部門： 機能商品事業部

電話番号： 03-5635-5214

FAX 番号： 03-3699-7244

推奨用途及び使用上の制限： 排水用処理剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性：	爆発物	: -
	可燃性又は引火性ガス (化学的に不安定なガスを含む)	: -
	エアゾール	: -
	支燃性又は酸化性ガス	: -
	高压ガス	: -
	引火性液体	: -
	可燃性固体	: -
	自己反応性化学品	: -
	自然発火性液体	: -
	自然発火性固体	: -
	自己発熱性化学品	: -
	水反応可燃性化学品	: -
	酸化性液体	: -
	酸化性固体	: -
	有機過氧化物	: -
	金属腐食性化学品	: -
健康に対する有害性：	急性毒性（経口）	: 区分外
	急性毒性（経皮）	: 区分外
	急性毒性（吸入：ガス）	: -
	急性毒性（吸入：蒸気）	: -
	急性毒性（吸入：粉じん）	: -
	急性毒性（吸入：ミスト）	: -
	皮膚腐食性及び刺激性	: 区分 1
	眼に対する重篤な損傷 又は眼刺激性	: 区分 1
	呼吸器感作性	: -
	皮膚感作性	: 区分外
	生殖細胞変異原性	: -
	発がん性	: -
	生殖毒性	: -
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: -
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: -
	吸引性呼吸器有害性	: -
環境に対する有害性：	水生環境有害性（急性）	: 区分 2

水生環境有害性（長期間）：区分外

オゾン層への有害性：-

*上記の「-」は分類対象外又は分類できないことを示す。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語：危険

危険有害性情報：

- ・重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
- ・水生生物に毒性

注意書き：【安全対策】

- ・取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- ・ミストを吸入しないこと。
- ・使用前に安全データシート(SDS)を入手し、全ての安全注意を理解するまで取り扱わないこと。

【応急措置】

- ・飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- ・皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。多量の水と石鹸で洗うこと。
- ・直ちに医師に連絡すること。
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・吸入した場合：被災者を空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・漏出物を回収すること。
- ・環境への放出を避けること。
- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合、異常がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
- ・汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には十分洗濯をすること。

【保管】

- ・施錠して保管すること。
- ・容器を密閉して換気の良いところで保管すること。

【廃棄】

- ・内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

【その他】

- ・目的用途以外に使用しないでください。

3. 組成及び成分情報

単一物質・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名 等：脂肪酸塩の水溶液

成分名(別名)	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS No.
			化審法	安衛法	
脂肪酸塩	10 未満	非公開	既存(非公開)	-	既存(非公開)
その他	1 未満	非公開	既存(非公開)	-	既存(非公開)
水	残分	H2O	-	-	7732-18-5

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 被災者を空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師の診断を受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服をすべて脱ぎ、皮膚を多量の流水またはシャワーで洗い流し、石鹸で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合は速やかに医師の診断を受けること。
- 目に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぎ水などを飲ませ、医師の診断を受けること。無理に吐かせないこと。意識がない場合は何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 水、泡、粉末等の消火剤が使用できるが、本製品を巻込んだ周辺の火災に適切な消火剤を使用すること。
- 使ってはならない消火剤 : 情報なし
- 火災時の特有の危険有害性 : 情報なし
- 特有の消火方法 : 本品自体は不燃性である。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能の場合には容器および周囲に散水して冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は必ず保護具を着用し消火活動は風上から行う。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着しないようにする。
- 保護具及び緊急時措置 : 手の保護具 : 不浸透性の保護手袋 (ビニル/ゴム手袋等)
目の保護具 : 保護ゴーグルまたは保護面 (フェイスシールド)
皮膚及び身体の保護具 : 不浸透性の保護衣 (ブーツ、エプロンあるいは全身保護服)
- 環境に対する注意事項 : 漏出した製品が直接河川等環境中に排出されないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材 : 床面にこぼれた場合には、出来る限り回収し、回収しきれなかった物については多量の水で洗う事。少量の場合はウエスに吸収させ焼却する。拭き取った箇所は多量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように適切な保護具を着用する。容器の転倒、落下等粗暴な扱いをしない。
漏れ、溢れ、飛散等を防止し、みだりにミスト等発生させない。
- 局所排気・全体換気 : 作業場所の換気を行うと共に、必要に応じて局所排気装置を設置する。
- 注意事項 : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
屋内作業場以外に汚染した保護具を持ち出してはならない。
取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 安全取扱い注意事項 : 特記事項なし。
- 保管
- 適切な保管条件 : 容器は密栓し、直射日光を避け、換気のよい冷暗所に保管する。
- 安全な容器包装材料 : ポリエチレン樹脂等

8. 暴露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 設定されていない
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会(2006年度版) : 設定されていない
ACGIH(2005年度版) : 設定されていない
- 設備対策 : 屋内作業場における取扱い場所では、十分に換気を行う。局所廃棄装置の設置が望ましい。
作業場近くに洗眼及び身体洗浄のための設備を設置し、位置を明瞭に表示する。
- 保護具
- 呼吸器の保護 : 通常取扱いでは特に必要ない。
- 手の保護 : 不浸透性の保護手袋(ゴム手袋等)
- 目の保護 : 保護ゴーグルまたは保護面(フェイスシールド)
- 皮膚及び身体の保護 : 不浸透性の保護衣(ブーツ、エプロン及び全身保護服)
- 衛生対策 : この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

9. 物理的及び化学的性質

- 外観 : 無色～淡黄色液体(わずかに濁りあり)
- 臭い : 石鹼臭あり
- pH : 10.8(原液、25)
- 融点・凝固点 : -5 以下
- 沸点、初留点及び沸騰範囲 : 情報なし
- 引火点 : 情報なし
- 爆発範囲 : 情報なし
- 蒸気圧 : 情報なし
- 蒸気密度 : 情報なし
- 溶解性 : 水に易溶
- 自然発火温度(発火点) : 情報なし
- BOD : 24g0/kg
- COD : 54g0/kg

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 通常取扱い条件においては安定である。
- 危険有害反応可能性 : 情報なし。通常取扱い条件においては安定である。
- 避けるべき条件 : 特記事項なし。
- 混触危険物質 : 特記事項なし。
- 危険有害な分解生成物 : 情報なし。

11. 有害性情報

製品としてのデータはなし。以下、主成分(脂肪酸塩)の情報を記載

- 急性毒性 : LD50(経口、ラット) >5,000 mg/kg
LD50(経皮、ラット) >2,000 mg/kg
LD50(吸入、ラット) 5,610 mg/kg
- 皮膚腐食性・刺激性 : 重篤な皮膚の薬傷および眼の損傷のおそれがある。
- 眼に対する重篤な損傷 / 刺激性 : 重篤な目の損傷のおそれがある。
- その他の刺激性情報 : 長時間または繰り返しての皮膚への接触は炎症、かぶれ等を生じる。
- 発がん性 :
- IARC : 認定されていない
- NTP : 認定されていない
- 日本産業衛生学会 : 認定されていない

12. 環境影響情報

製品としてのデータはなし。以下、主成分（脂肪酸塩）の情報を記載

移動性	:	土壌環境において移動性は非常に高い。
残留性 / 分解性	:	生分解性は高い
生体蓄積性	:	水棲生物に対して生体蓄積性が低い又は蓄積性がないと判断される。
生態毒性	:	魚毒性 : $LC_{50}(96) = 50 \sim 100\text{mg/kg}$

13. 廃棄上の注意

産業廃棄物として都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託処理する。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処理する。

極少量の場合は多量の水で希釈して放流する。

使用後の容器は中に薬液が残らないようし、産業廃棄物として処理する。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報	:	I M D Gの規則に従う。
航空規制情報	:	I C A O / I A T Aの規則に従う。

国内規制

陸上規制情報	:	特記事項なし。
海上規制情報	:	船舶安全法・危規則に定められている運送方法に従う。
航空規制情報	:	航空法に定められている運送方法に従う。

国連分類

国連分類	:	クラス 8 (腐食性物質)
国連番号	:	1 7 6 0 (その他の腐食性物質(液体)(他の危険性を有しないもの))

容器等級

海洋汚染物質

輸送の特定の

安全対策及び条件

緊急時応急措置

指針番号

容器等級	:	
海洋汚染物質	:	非該当
輸送の特定の	:	運搬に際しては梱包材料の破損のない事確かめ、落下・転倒・損傷がない様に積み込み、荷くずれの防止を確実に行う事。
緊急時応急措置	:	154

15. 適用法令

消防法	:	非該当
毒劇物取締法	:	非該当
化管法	:	第1種指定化学物質：非該当 第2種指定化学物質：非該当
労働安全衛生法	:	表示物質：非該当 通知物質：非該当
船舶安全法	:	腐食性物質
海洋汚染防止法	:	有害液体物質（ばら積み運送）

16. その他の情報

- ・本データシートは、製品の安全な取扱いのための情報として、現時点で入手できる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性や完全性を保証するものではありません。
- ・本データシートは、新たな知見に基づき改訂されることがあります。
- ・本データシートは、本製品用途における通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いの場合は用途・用法に則した安全対策を実施してください。
- ・本データシートは日本国内向けに作成したものです。
日本以外で使用する場合は、その国での法律・規制等を確認してください。